

第470回6月25日開催
出席委員(50音順・敬称略)

| | |
|-------|-------|
| 荒巻 裕 | 大村 英昭 |
| 木下 明美 | 黒田 勇 |
| 櫻井 美幸 | 深井 麗雄 |
| 森 輝彦 | |

テレビ番組

「水野真紀の魔法のレストラン」

6月13日(木)午後6時55分～7時54分 放送分

荒巻委員

料理・グルメ番組を語るのはなかなかむずかしいものである。いたずらに高級料理ばかりを紹介すると視聴者の反感を買う場合がある。一方で、番組を見ただけで料理を十分に味わった気分になる人もいる。要は、いろいろな見方をする視聴者がいるということを配慮して番組を作ってほしい。

黒田委員

大阪の食文化についてステレオタイプから脱却するような方向で番組制作をする上で、メイン司会の水野真紀さんはぴったりだと思う。しかし最近、その水野色が後退している感じがする。もっと彼女を前面に出しながら、大阪の“食い倒れ文化”といったものを現代風に発展させて行ってほしい。

木下委員

「魔法のレストラン」というタイトルやスタジオのデザインもすてきだが、個人的には以前の番組「あまからアベニュー」の方が庶民的でよかったと思う。またメインの司会役を女性がするのは大賛成だが、少し押しが足りない感じがする。ただ番組のホームページは大変充実していると思う。

深井委員

初めて番組を見たが、食文化を含めたいかにも大阪的な番組のメインの司会を、関東のタレントという非大阪的な人たちがすることに大きな違和感を感じてしまった。ただ視聴率がそれなりに高いのは、大阪弁を含めた大阪的なものを「主」ではなく「従」として扱うというミスマッチが視聴率に反映しているのではないかと。

櫻井委員

全体としては、串焼きというテーマの中にたくさんの内容が盛り込まれていて楽しく見ることができた。ただ、司会役のペアはもっと生き生きとした楽しそうな雰囲気があってもよいのではないかと。また番組の構成上仕方ないのかもしれないが、後

半にCMの数が多いのがやや気になった。

大村副委員長

私は大阪船場のあっさりとした料理で育ってきたので、今回の串焼きを見ていると何か油が匂う感じがしてしまった。

今ある大阪の料理といえば、作られた大阪イメージのこってり料理である。伝統的な大阪の食文化と視聴者が抱いている大阪の食文化というものが大分違ってきているのではないかと思う。

森委員長

この番組は視聴者に非常に近い存在であるということが、人気の秘密になっているのではないか。

ひとくちに大阪の味と言っても、場所が少し違うだけで随分違うものである。同じ関西の中でも味や食文化が微妙に違うということを、司会者の二人がきちんと理解した上で放送して行けば、番組の奥行きも深くなるのではないかと思う。

委員の交代

朝野富三委員が5月で退任。新たに就任した毎日新聞大阪本社編集局長の深井麗雄委員が紹介された。

テレビ番組「ウルトラマンコスモス」放送打ち切りについて

テレビ番組「ウルトラマンコスモス」に出演中の俳優が未成年時に起こした事件で逮捕されたことに伴い、「ウルトラマンコスモス」の放送を打ち切ることにした経緯と今後の放送対応について編成局長が報告した。